

サマーフェスタ2016、ご協力いただきましたすべての皆様に感謝申し上げます。(敬称略)

ボランティア様(人数)	協賛金・品・お祝い・バザー用品提供(企業・個人)		
名前	名前		
オールウェイズ(7)	刈エワイプロダクションアドス	吉谷	鹿島 孝視
川津クラブ(9)	アイカム	レインボーフォーラム	加藤 末夫
山陰中央専門大学校(2)	伊藤忠エクスホームライフ西日本	ワイズ工業	狩野 律子
東出雲婦人会(2)	えさし生花店	和光工業	来待 由里子
島根大学(学生)(2)	神谷鉄筋	和幸電通	後長 修司
島根電工(12)	CARRE(カレ)	和幸冷温	小林 正司
新和設備工業(12)	木佐設計	ワタキューセイモア	権田 富子
千鳥福祉会 家族会(10)	岸本農園	綿久リネン	滋野 和政
チームイースト(4)	協和警備保障	山陰合同銀行	杉原 あかね
日清医療食品(13)	クミアイ石油	小山 省	仙田 節子
松江ボランティアセンター(5)	協同組合建築技術センター	大井町有志	高木 紀年
島根総合福祉専門学校(5)	サンラボーむらくも	はらぶん	多久
双葉タクシー(1)	島根電工	サニクリーン広島 松江支店	田中 義弘
富士見自工(1)	新和設備工業	東出雲婦人会	田村 敏之
ほほえみの会(6)	大京自動車	廣江 幸恵	寺本 公仁
松江土建(22)	千鳥福祉会 家族会	青山 まゆみ	長野 武
松江農林高等学校(2)	司建設	アートアカデミア グラスハウス	長嶺 幸恵
松江工業OB会(1)	中村茶舗	足立 勝美	中村 加代子
松江緑ヶ丘養護学校(3)	日交整備	安部 茂子	野津 篤
松江清心養護学校(6)	日清医療食品	石倉 貢	野津 進
松江養護学校(4)	ノア	石飛 孝	野津 福市
安島工業(4)	浜松不動産	石橋 宣治	野津 衛
吉谷(2)	原商	石橋 光枝	野々村 登
米子ペリエ(4)	福間商事	伊藤 立身	長谷川 清寿
WAIWAIクラブ(7)	富士見自工	稲塚 公郎	長谷川 暁一
和幸電通(9)	双葉タクシー	井上 鉄正	林 悟
和幸冷温(5)	松江工業OB会	井上 寛巳	平野 政恵
平成ニュータウン子供会	松江土建	井上 美和子	福井 知子
安達 浩史	松文オフテック	上田 雅晴	宮廻 俊夫
安部 茂子	松本金物建材店	大橋 知徳	宮本 光子
石倉 梨加	三浦工業	面谷 久	村松 英明
井上 喜代美	ミック	恩田 孝子	森井 左代子
江藤 恵美子	安島工業	角田 祐吉	吉岡 明賢
大高 小百合	ユニコン	梶谷 京子	
嘉納 大輔			
川上 健一			
神門 洋介			
佐々木 己恵			
佐々木 ことね			
渋谷 りあ			
塚本 秀			
寺本 司			
中西 涼			
永海 暁・壮真			
野津 恵治			
野津 進			
野津 達巳			
松本 淳一			
山口 真由美			
山本 智範			
総勢186名			

キャップ・プラタブ
回収結果報告



この度の回収事業に際しましては、新和設備工業(株)様を始めとして非常に多くの方のご協力を賜わり、心より御礼申し上げます。キャップの方は16,168個という実績で、回収したものはエコキャップ推進協会へ送付致しました。今後も継続して行って参りますのでよろしくお願ひします。

フェスタ後清掃

今年もフェスタ翌朝に、法人をあげての地域一斉清掃を行いました。「始める前より美しく!」



収益金を
寄附いたしました。



今年度のサマーフェスタ収益のうち一部を持田地区社会福祉協議会へ寄付させていただきました。公民館・地域の皆様には、温かく迎えていただき、誠にありがとうございました!



Leaving
Care News
2016.09.01 No.126

夏祭り



T690-0814 松江市東持田町1415
社会福祉法人 千鳥福祉会
TEL0852-24-8820(代)FAX0852-24-8825
障がい者支援施設 持田寮
多機能型事業所 ワークセンターフレンド
多機能型事業所 L.C.C.ういんぐ
共同生活援助事業所
居宅介護等事業所千鳥福祉会ケアセンター大空
相談支援事業所 ひまわり
放課後等デイサービスぱすてる
URL <http://www.tidori.org/>
E-mail chidorifukushikai@luck.ocn.ne.jp



Tsunagarou

春は蝶のように舞い、夏は蝉のように鳴き、
秋は焼き芋のように暖かく、冬は芋虫のように寄り添って…

千鳥福祉会 理事長 山本 昌子

暑さ寒さもお盆までとよく言ったり聞いたりしたこれまでの常識が通用しなくなることを実感する暑い夏でしたが、皆様におかれましてはご健勝にてお過ごしのことと存じます。

過日、7月17日(日)に千鳥福祉会サマーフェスタ2016を開催致しました所、松江市地域福祉課湯町次長様を始めたくさんの方のご来賓を賜ると共に、2000名近い地域の方々のご来場を賜りました。心からお礼を申し上げます。

また、この祭りを支えて頂いております後援会様、ボランティア団体様、ご家族様、学校関係者の皆様、そしてご来場いただく地域の皆様などのお力で、無事に、そして賑やかに終えることができ、感無量でございます。役職員一同、心からお礼を申し上げます。

今回は15回目の開催となりますが、回を重ねる毎に法人の命運をかけた大きな行事と感じ身震いすることもあります。また同時に、この継続開催はきっと求められているからできたことであると思ひますし、今回の成功もその証しでもあると自負する所でもあります。そして、継続は力なりの通り、20回、30回と開催し続ける

という役割もあると感じます。当然、色んな苦難や課題が押し寄せてくるとは思ひますが、その苦難を乗り越える力こそが「生きる力」であり「苦難を楽しさに変える力」こそが、先が見えない「今」大切であり必要な力だと思ひます。安来のおじこと「ノグチアツシ」さんが「なんだろうこの祭り…他の祭りにはない楽しさと優しさ・温かさを感じる」と言って下さいました。密かにほっとしました。「大切にしてきた心遣いの連鎖・ホスピタリティの連鎖が会場を包んでいる」「この空気を一夜の仮想現実に終わらせないで、そんな優しい地域社会を創るのが福祉の仕事である」…そう信じて祭りを開催し続けて、少しそのあたりが見える様になってきたのですね。この「ホスピタリティの連鎖=福祉の文化」が地域に根付けば、相模原で起こった悲惨な事件を生まない社会を創る底力になると信じます。更に、15年間伝え続けているタイトルの言葉が実感できるようになればと思ひます。どうか、今後ともお力添えを賜りますようよろしくお願ひいたします。本当にありがとうございました。

2016 サマーフェスタ 大変目玉でした

多機能型事業所L.C.C.ういんぐ 管理者 福庭紳介

痛ましい災害や事件・事故、反してオリンピックでのメダルのラッシュやオバマ氏の広島来訪など、わが国では良いこと悪いことが毎日のように大なり小なり起こっています。今回の千鳥福祉会サマーフェスタ2016はどちらだったでしょうか。と書きますと、当然「良いこと」とならなければいけないところですが、各事業所・来場者のアンケートを全て読み込んで分かったのは、アンチな意見もいくつかあったということです。しかしながらそれは「来年を期待して」という前提をもってのご意見であり、次は「がんばればよ」（外部）あるいは「がんばろう」（内部）ということと解釈します。

次なる段階に至るためのご意見をたくさん頂きました。この度のフェスタは「良いこと」と個人的には思われました。身内にとっても地域にとってもです。清濁併せの勇気をもって、地域の一役を担う必要があると実感しました。

緑日は客数・売上ともに、迷路は昨年比115%、それ以外の金魚すくい等は合わせて118%という好業績でした。チーフがてくてこ舞いの売り場となり、緑日ボランティアの方にはいろいろご迷惑をおかけしたと思います。ボランティア・チーフ共に忙しく大変な一日でしたが、上記の数値結果とアンケートの感謝の声がつながりを実感させてくれました。お疲れ様でした。

共同生活援助事業所 世話人 三原恵美

今年初めてホーランエンヤに参加しました。これまで何回か練習を見せて頂いてはいましたが、今回はヘルパーの仕事も半分だけ休みを頂き、5月から毎週2回の練習に励みました。職員が業務の為来れない日は、利用者様が中心となり練習を開始、また、指導して下さる大井町の方が来られると練習の空気感もビシッととなり、皆、集中しました。休憩中には利用者様も職員も関係なくベテランが初心者に対し「こうやった方がいい」と教え合ったり、自分のパート以外の所をやってみたりと、それぞれが協力合ってるで部活のような和やかな空気場になっていました。ホームの日常だけでは見られない利用者様同士が協力して伸びていく姿を見ることができたり、他部署間、あるいは大井町の方との交流やつながりが感じられた貴重な体験でした。お忙しい中、ご指導下さった大井町の皆様には大変感謝しております。ありがとうございました。

相談支援事業所ひまわり 所長 竹内淳子

「太鼓くらいなら簡単」と軽く引き受け、今年はお出演者として初の舞台に立ちました。週2回の練習会が5月より始まり、意外な光景がそこにありました。女性だけだ男らしい伝馬長のSさん、舟を漕ぐKさん、2人の女性に注目…男性に交ざって堂々と、自分のパートを繰り返し練習、そして利用者・職員の区別なく、全員が「合わせる」ことに集中。「役者として出演したい」と手を挙げた皆さん、本当にお疲れ様でした。出来たら、始めた当初のように練習会を覗いてもらい、多くの方から声援してもらえると、もっと喜びが増えるのだろうなあと思いました(そういう私も3回目くらいまでしか覗けなかったけれど…)。



ワークセンターフレンド 管理者 松浦和志

サマーフェスタオープニングのホーランエンヤの演舞が終わった後の18時から、今年度はシャトル便の担当として来場されたお客様の送迎に携わりました。ボランティア様2名、職員4名での編成で行い、安全に、事故無く、無事にお客様の送迎が出来たと思います。車中にて、お客様から、「公民館でやるような祭りと思っていたら、こんなにお客さんが来るとはびっくりしました。」「私、一人でも送って下さり有難うございます。」「今回で3回目だけだ、どんどん人が多くなっている感じ、スタッフの人大変でしょう。凄いですね。」等たくさんのお褒めの言葉を頂きました。同時に、来年の課題も見えてきたところです。フェスタ業務は大変でしたが、お客様の言葉で、心地よい疲れになったと感じました。

障がい者支援施設持田寮 施設長 江指裕嗣

今年は、フェスタのテーマとなっている「つながろう」を何とかステージで企画、表現ができないか、という事で担当でも過去にないほどの検討をしました。会場の一体感がキーワードでした。ですが、なかなか良い企画を生み出すことができず、最終の実行委員会後も担当で検討する羽目になってしまいました。結果、ビンゴ大会前の気持ちの高まりを会場のみなさんと一緒に音楽に合わせてうちを振るなどして共有しようというライブ的な企画となりました。

そして、その時、ステージ上からは会場に広がったうねりが見えました。障がいがある方もない方も分け隔てなく、一緒につくったうねり。成功なのかは分かりませんが、みなさんにとってもこの光景が記憶に残るような瞬間になったとしたら、どこかでつながることができたのかな、と感じました。



サマーフェスタの底力、ボランティア・協賛店のみなさま。

今年も大きな力をありがとうございました。



総務部 主任 田中志保

「こんにちは、よろしくお願いします。」ボランティアの皆さんの元気な挨拶でフェスタが始まりました。今年のボランティア総数は約170名、毎年参加のなじみのお顔も大勢あります。ボランティア内容は前後日の設営、当日の露店運営を始めゴミ拾いに至るまで多岐に亘り、また参加される動機、年齢、所属、参加回数も様々です。当日は常連の方から初めての方まで、皆様それぞれの持ち場の中で元気よく、生き生きと笑顔で活動して下さいました。それはボランティアの皆様がフェスタを通して楽しみや遣り甲斐、達成感を感じられた瞬間でありました。皆様の笑顔がお客様(利用者様)の笑顔へ、お客様の笑顔がスタッフの笑顔へつながったひと時でした。そしてサマーフェスタが多くの皆様を支えられ15回目を無事終えられたことに感謝すると共に今後も長く続け、この地域になくてはならないものになれるよう邁進していきます。ボランティアの皆様有難うございました。また来年も宜しくお願いします。

多機能型事業所L.C.C.ういんぐ 支援員 深石恵美

「すっかりブースの担当になられましたね。」今年のサマーフェスタはボランティアの方のそのような一言からスタートしました。今年で同じ露店を担当して三度目。毎年ご協力下さっているボランティアの皆さんに顔を覚えて頂いたことに安堵し、露店のオープン時間を迎えたことを思い出します。当日は慌ただしい中でも声を掛け合い、楽しい売り場となりました。また、その場で感じたことも気軽に話し下され、来年に活かせるご意見をたくさん頂戴しましたことを嬉しく思います。ありがとうございました。

今年初めてご来場頂いたお客様より、「親子で楽しませて頂きました。本当に楽しかった。また来年も来たいです。」とお話がありました。その言葉にまた新たな輪の広がりを感しました。始まる前は心配なことや緊張もありましたが、今年も楽しい一日となりました。

